

## 情勢報告（平成 28 年 8 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### 宮谷集落の農地を守る！～「宮谷営農組合 瑞穂ファーム」設立総会～



宮谷営農組合

8月6日に集落の農業者14人が出席し集落営農組織「宮谷営農組合 瑞穂ファーム」の設立総会が開催されました。

宮谷集落では、平成27年11月から集落営農組織化に向けた検討を進め、今回、組合員15人で集落営農組織を設立することとなりました。

設立総会では組合の活動についての議事の説明に対して、参加者からは「今後、問題が起こって耕作出来なくなった農地も引き受けていくのか？」「地域の参加者を今後も広げていくようにお願いしたい。」「会等の活動状況は地域に回覧等で知らせてほしい。」等の意見が出され、組合長も「集落の皆の協力の元、より良い組合にしていきたい。」と話していました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して集落営農組織化・集落営農組織の活動を支援します。

### キラリと輝く産地を目指して！～JA津野山園芸部会員のは場点検を行う～



は場点検をする様子

8月8日から、JA津野山と須崎農業振興センターからなる津野山地域営農連絡協議会プロジェクトチーム会が、ミョウガ、甘長トウガラシ等JA津野山園芸部会員に対して、GAP活動の一つである「は場点検」を行いました。

農業改良普及課はJAとともに、は場の実態について、改善したらよいと思われることを点検しました。は場点検結果については、後日、処方箋のような形で、部会員に返します。

部会員からは、「忙しいけど、ハウスの中をきれいにせんといかんねえ」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は今後もJA等関係機関と連携して、津野山地域におけるミョウガ、甘長トウガラシ等の安定生産や品質向上に向けて支援します。

### キュウリの安定生産に向けて ～勉強会を開催～



説明する普及指導員

7月26日、JA土佐くろしお営農センター2階会議室でキュウリの生産者18名が参加し、環境制御技術、IPM技術の勉強会を開催しました。環境制御技術の基礎である光合成、転流、呼吸等植物生理についてとスワルスキーカブリダニ等の天敵利用方法について説明しました。

生産者には炭酸ガスの施用がキュウリにどのように反応しているのか、どうして摘葉や摘果が必要なかが理解されました。また、天敵についても一番効果がある放飼時期や農薬等についてなど質問も多くあり、次園芸年度天敵導入に取り組んでみるといった声も聞かれました。

農業改良普及課は、今後もキュウリの安定生産に向けて環境制御技術とIPM技術について、現地検討会や勉強会を通じて普及に取り組み、農家のレベルアップに繋がります。

新規就農者の確保・育成に向けて ～津野山地域新規就農相談会を開催～



相談会で説明をする様子

8月14日、高知県主催による津野山地域新規就農相談会を津野山農協営農センターで開催し、地元の新規就農者と担い手育成センター研修生の計2組の相談がありました。

相談会では、農協と役場からは産地提案書による津野山地域の農業概要と研修実施等の支援策について、農業改良普及課からは須崎地域の農業概要と各支援策の補足説明を行いました。

参加者からは、補助事業の活用や研修後の就農支援対策に関する質問が出され、これらの説明を行ったことで、参加者が今後の営農方針及び就農地の検討に関する情報を把握することができました。

農業改良普及課は今後もJA等関係機関と連携して、津野山地域における新規就農者の確保・育成に関する取り組みを続けていきます。